

あなたが支える市民活動応援事業 補助金交付申請書

大分市長 足立 信也 殿

所在地 別府市スパランド豊海51-7
団体名 南蛮文化研究会
代表者氏名 松尾 佳保
電 話 090-4486-1069
担当者名 XXXXXXXXXX
担当者連絡先 XXXXXXXXXX

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第5条の規定により、次のとおり申請します。

記

1. 事業名 16世紀豊後歴史探訪 9

2. 事業の概要

16世紀、豊後のキリシタン大名・大友宗麟のもとで花開いた西洋文化の実態を、様々な史料から探るとともに、16世紀の豊後を追体験する。

3. 事業費 113,400 円

4. 交付申請額 81,700 円

5. 概算交付 ☐概算交付を希望する。

☒概算交付を希望しない。

※ 概算交付を受けるには、過去に当該事業で補助を受けた実績が必要です。

6. 添付書類
- (1) 団体調書(様式1-1、1-2)
 - (2) 事業計画書(様式2)
 - (3) 収支予算書(様式3)
 - (4) 団体要件・事業要件確認シート(様式4)
 - (5) 誓約書(様式5)
 - (6) 規約、会則、定款等の写し
 - (7) その他市長が必要と認める書類

(i. 本制度に関する予算については、3月の第1回定例会での予算可決をもって決定されます)

(ii. この内容は、大分市ホームページ等で公表いたします。)

団 体 調 書

1 団体の概要

団 体 名	(ふりがな) なんばんぶんかけんきゅうかい 南蛮文化研究会					
住所	〒 874 - 0012 大分県別府市スパランド豊海 5 1 - 7					
代表者氏名	(ふりがな) まつお かほ 松尾 佳保		FAX (団体)			
電話 (団体)	0 9 0 - 4 4 8 6 - 1 0 6 9		E-mail (団体)		nanban.oita2022@gmail.com	
設立年月日	令和 4 年 2 月 1 日	ホームページ	有 ・ (無)		団体構成員数	3 人
活動の分野 ※別表参照	主分野 (1つ)	2		その他の分野	3 ・ 4 ・ 6	
連絡責任者 ※この申請について問い合わせをしたときに対応できる方	住所					
	氏名			FAX		
	電話			E-mail		
主な活動地域	☒ 市内全域 ☐ 大分中央 ☐ 大分東部 ☐ 大分西部 ☐ 大分南部 ☐ 南大分 ☐ 鶴崎 ☐ 大南 ☐ 植田 ☐ 大在 ☐ 坂ノ市 ☐ 佐賀関 ☐ 野津原 ☐ 明野					
団体の活動目的 ※簡潔明瞭に記入してください	専門家の講師をお招きし、16世紀、豊後のキリシタン大名・大友宗麟のもとで花開いた西洋文化の実態を、様々な史料から探るとともに、16世紀の豊後の姿を追体験する。					

これまでの 主な活動実績	年度	事業名		実施回数	参加者数
	2017 年	大友宗麟と伊東マンショが 見た・聴いたものは？		3 回	94 名
	2018 年	大友宗麟と伊東マンショゆかりの西洋文化、その後の行方～長崎・生月島の「かくれキリシタン」による“おらしょ・歌おらしょ”を中心に～		3 回	71 名
	2019 年	大友宗麟のもとで豊後に花開いた西洋文化とその後～ゆかりのグレゴリオ聖歌の歌唱や関連遺跡探訪を通して～		3 回	67 名
	2020 年	大友宗麟ゆかりの西洋文化とその後の行方～長崎・生月島の祈り“おらしょ・歌おらしょ”から豊後キリシタンの実態を探る～		3 回	53 名
	2021 年	大友宗麟の時代の文学と話し言葉の実態～コレジョで学ばれた『伊曾保物語』『平家物語』などを通して～		3 回	46 名
	2022 年	豊後に設けられたノヴィシヤドとコレジョの第一期生で、後に秀吉と家康の通詞としても活躍する J. ロドリゲス～ロドリゲスの豊後での生活と後に著す著作などから当時の豊後の実態を読み解く～		3 回	47 名
	2023 年	豊後に設けられたノヴィシヤドとコレジョの第一期生で、後に秀吉と家康の通詞としても活躍する J. ロドリゲス その（２）～ロドリゲスの『日本大文典』に記された日本文学と豊後に滞在したフロイス、ヴァリニャーノとロドリゲスの日本人観との比較を通して、当時の豊後の実態を読み解く～		3 回	68 名
	2024 年	ヴァリニャーノ が豊後で執筆した『イエズス会士礼法指針』～「天正遣欧少年使節」を企画したヴァリニャーノ と当時の豊後との関わりを読み解く～		3 回	61 名
これまでに補助 や委託を受けた 実績	年度	補助（委託）元	補助事業名		金額
	2019 年	大学等による「おおいた創生」推進協議会	リカレント教育事業		198,800 円
	2020 年	大学等による「おおいた創生」推進協議会	実践型地域活動事業		199,920 円
	2024 年	大分市	あなたが支える市民活動応援事業		2,518 円

2 活動計画書

事業の実施に関する事項

(1) 公益的活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施予定 回 数 (延べ)	予 算 額 (千円)
16世紀の豊後 歴史探訪 9	豊後にゆかりの ある人物の史実 から、当時の豊後 の文化や生活を 紐解く	10月と12 月の各月 1回、 日曜日 (13:30～ 15:00)	ホルトホ ール大分 (講義 室)	60名	2回	113
16世紀の豊後 歴史探訪 9	講座の内容にか かわるフィール ドワークを実施	11月の日 曜日	未定	20名程度	1回	0
小 計					3回(a)	113千円 (c)

1%応援
事業補助
対象事業
を記載

(2) その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施予定 回 数 (延べ)	予 算 額 (千円)
小 計					0回(b)	0千円(d)

合 計	(a)+(b) 3回	(c)+(d) 113千円
-----	---------------	------------------

カテゴリーごとの公益的活動の割合 ※小数点以下は四捨五入してください。	(a)/(a)+(b) 100%(A)	(c)/(c)+(d) 100%(B)
全活動に占める公益的活動の割合 {(A) + (B)} ÷ 2 ※小数点以下は四捨五入してください。	100%	

事業計画書

事業名	16 世紀豊後歴史探訪 9	
事業内容	主な対象者	大分県内外の一般人（児童生徒学生含む）
	内容	宮崎大学名誉教授 竹井成美先生を講師にお迎えし、全3回の講座を開講する。3回開催のうち、第1回目と第3回目については座学、第2回目は関連施設やゆかりの土地、場所のフィールドワークを予定する。今年度は豊後にゆかりが深いルイス・デ・アルメイダに焦点をあて、彼の生涯や豊後における功績を通して、当時の豊後の生活や文化の実態に迫る予定である。また関連施設を巡ることで、16世紀の豊後を追体験する。
事業スケジュール ※別紙添付可	時期（月） 3月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	内容 講師依頼及び打ち合わせ 会場の仮押さえ 内容の決定及びチラシ作成の依頼 チラシ完成 昨年参加者にご案内郵送 公共施設等にチラシ設置依頼 第1回 講義 第2回 フィールドワーク 第3回 講義
広報計画・方法 ※参加市民等の受益対象者の増加に向けた具体的な広報計画等	☐ ホームページ ☐ チラシ、広報誌 ☒ facebook 等の SNS ☒ その他（具体的に） ・ちらしの作成し、過去の参加者にご案内を郵送する ・ホルトホールの案内場にちらしの設置 ・演奏会等でチラシの配布 ・各関係者にチラシの配布	
自己収益金の拡大に向けた取り組み ※自己収益金とは会費収入、事業収入や寄付金収入等であり、補助金や交付金による収入は含まれません	本団体の活動に賛同してくださる方へ、会員を募集する。 （※会員は年会費1,000円とする。）	
見込まれる効果 ※地域にどのような効果をもたらすのか、また市民福祉の向上にどのようなつながるのか	16世紀、大友宗麟のもとで繰り広げられた南蛮文化に焦点を当てる。豊後にかかわった宣教師たちやゆかりが深い人たちの様々な史実から、当時の豊後の庶民に広がった南蛮文化や生活について紐解いていく。大分市の先人たちがどのような西洋音楽を聴いたり演奏したりしていたか、またどのような言葉を話し教育を受けていたのか等を身近に感じ、知ると思わず他者に伝えたいような内容になっているため、結果として県内外の方々に大分市をアピールすることになり、地域活性化や観光に繋がると考える。	
新規事業・継続事業の別	※申請事業について、該当する□にチェックしてください。 ☐ ① 1%応援事業の交付申請をするのは初めてである。 ☒ ② 以前に1%応援事業の交付申請をしたことがある。	

収支予算書

事業名： 16世紀の豊後歴史探訪 9

1 【収入】

(単位：円)

項目	金額	説明 (積算等)
補助金収入	81,700	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	3,000	会員年会費 1,000円×3名
事業収入	0	
寄附金収入	28,700	有志の方からのご寄付
その他	0	
合計	113,400	

2 【支出】

(単位：円)

項目	金額	説明 (積算等)
報償費	30,000	大学名誉教授 15,000円×2日
旅費	0	
消耗品費	5,000	コピー用紙、文具類
燃料費	0	
食糧費	0	
印刷製本費	30,000	レジュメ印刷代 300円×100部
通信運搬費	11,000	開催案内文書の発送 100名×110円
広告料	10,000	新聞への広告 2社
保険料	0	
手数料・委託費	15,000	チラシ作成委託
使用料・賃借料	2,400	ホルトホール講義室、設備等使用料 (2日分)
原材料費	0	
備品購入費	10,000	ポインター
合計	113,400	

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。